

バネの総合メーカーである老舗会社のすごさに学ぶ

～バネで地元地域に貢献～

開催日：2024年11月28日（木）

訪問先：フセハツ工業（株）代表取締役社長 吉村 篤



本社所在地：大阪府東大阪市西堤本通西1丁目3-43／設立：1950年10月30日（創業：1946年）

事業内容：①スプリング類の製造並びに加工販売 ②建築用、スポーツ用及び家庭用金物類の製造並びに加工販売 ③鋼線及び鉄線類の販売 ④上記各号商品の輸出入業 ⑤上記各号に付帯する一切の事業

会社概要

吉村さんは、フセハツ工業の4代目社長です。1946年個人創業、1950年に株式会社布施発條工業所として法人化しました。「発條」は「バネ」という意味であり、自社で作る製品と地名が会社の名前の由来になっています。社員数は44名（うち2名障がい者雇用）で、20代から60代までバランスのよい社員構成です。特に、20代と30代でほぼ半数を占めており、将来性と活力のある会社です。自動車や医療をはじめ、さまざまな産業と密接にリンクした「バネづくり」の製造業で、バネ1個からの試作でも請け負っており、高い技術力で世の中に高品質の製品を送り込んでいます。売上高の構成は、自動車関連バネ事業35%（クラッチ用エアヤーリング）、一般産業用バネ事業65%となっています。押しバネ（例：バイクのサスペンション）、引きバネ（例：自転車のスタンド）、ねじりバネ、線加工バネ、リングバネといった多種多様なバネをラインナップしており、バネの総合メーカーとして、社会に貢献しています。また、バネ職人の独立を認める会社で、多くのバネ会社が誕生しています。



3代目社長で現会長の吉村さんのお父様も、はじめは独立して会社を興しています。一般には独立と言えば経営者はよく思わないですが、根底に広く世の中にバネを普及させたいという考えがあるからできることだと思いました。

営業は、従来のお客様が主体ではありますが、インターネットを通してさまざまな新規顧客を獲得しています。吉村さんは、これらの仕事の見積もりには一切口を出さずに、営業に値決めや提案営業を任せています。また、製造は、高品質でハイスペックのバネを試作から行い、できるだけ内製化に努めています。自動車関連のバネ生産と聞くと、量産化のイメージを持ちますが、その他の製品では、機械や設備の段取り替えによるものも多く、小ロット多品種製造の一面もあります。工場は自動化が進んでいますが、更なる合理化と生産性の改善をめざし、バネ製造マシンの新設備を導入して、将来に備えています。

地域貢献と会社PR(広報)活動

吉村さんは、バネを多くの方々に知ってもらい、自社だけでなくバネ業界が発展していけるよう、地域に密着した活動をしています。大阪モノづくり観光推進協会では、主に中学生を中心として1

年間に15回程度の工場見学会を行っており、300人以上の見学者が来られています。東大阪地域活性化支援機構では「モノづくりの体験教室」を開催しており、小学生に「虹色バネのおもちゃキット（色折り紙）」を配布して、バネづくりを体験してもらっています。このほかにも、地元の大学や高校、高専のインターシップや工場見学会、東大阪市教育委員会の教職員研修見学会、海外産業人材育成協会見学会ほか、多くの地域貢献を行っています。これらのフセハツ工業の活動は、多くの方々にバネに興味を持ってもらい、将来の人材採用にもつながり、自社の宣伝だけでなくバネ業界に貢献し、地元地域にも大いに貢献しています。

SNS活動も多く行っており「ばねとくらす」「ばねのフセハツ工業」「ばねの総合メーカー「フセハツ工業」といったサイトで、先の地域貢献と同様に、自社の宣伝だけでなく、多くの方々にバネを知ってもらう機会を設けています。また、社長自らも会社の広報活動を行っています。NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」を生かした東大阪市の「舞いあがれ 東大阪」ポスターの参加や、工場は「南海トラフ大地震」のロケ地として協力しています。

バネのスポーツ用品と海外取引

2代目社長であった吉村さんのご祖父様は、アイディアマンで、多くの開発商品を提供しました。特に、バネを利用した多くのスポーツ用品があります。1970年代に一世を風靡（ふうび）したエキスパンダーやハンドグリップ、おにぎりボールはフセハツ工業製が他社に先駆けて世に出したものです。これらのスポーツ商品は、国内のみならず海外でも人気商品となり、欧米を中心に多く海外に輸出されました。この時は某スポーツ用品メーカーに販売していたので、直接海外取引ではありませんでした。吉村さんは、2代目社長が行われていた海外ビジネスに着目し、今後はBtoCの海外ビジネスに取り組んでいきたいと考えています。

感想

創業から80年近く続く老舗企業の変化への対応力、常に挑戦する姿勢を学ぶことができました。お客様の取引先も、時代に応じて一般産業製品、スポーツ用品から自動車部品に変化するフセハツ工業のすごさを感じました。地域貢献もかなりしており、ISOや大阪府障がい者サポートカンパニー、健康経営優良法人、レジリエンス認証ほか、本当に中小企業のお手本になる会社だと思いました。フセハツ工業さんの更なるご発展とともに、吉村さんのますますのご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

文：日中経済交流研究会 広報委員会
オーツケミカル(株) 合田 研吾